



JICAミャンマー 工学教育拡充プロジェクト

EEHE PHOTOLETTER



学生実験・研究強化



EEHEプロジェクトでは、教員の研究能力向上に力を入れています。

8~11月にかけてアカデミック・アドバイザーや国内支援大学の教員がヤンゴン工科大学(YTU)とマンダレー工科大学(MTU)に派遣され、各専門分野で実験や研究指導、セミナーを開催しました。

岡田徳次アドバイザーはメカトロ、電力、電子工学を担当し、プロジェクトの研究資金を得て研究中の教員や学生を指導しました。MTUメカトロ学科では学生の「双輪移動ロボットのバランス制御」に関し、センサとその利用法について議論。また両大学の各学科で電力制御素子について講義し、関連する部品も回覧して参加者の理解を深める工夫をしています。

佐々木修己アドバイザーは電子、情報工学を担当し、MTUでレーザー干渉計の学生実験を開始するための準備を行い、YTUでは干渉計装置を構築し、セミナーや実験を実施しました。

土木工学科には小池武アドバイザーと京都大学の白土博通教授と三村衛教授が派遣されました。小池アドバイザーは教員や博士課程学生の自主研究能力向上を目指して、定期の研究ゼミの開催を促進しています。水グループは他グループよりも研究活動が軌道に乗っていますが、構造・地盤グループの活動が不十分と判断し、彼らの支援に重点を置いています。また博士課程学生に対しても同様の指導を継続して実施中です。白土教授は風工学グループを支援し、教員および学生に研究指導実施し、三村教授は地盤グループを支援し、教員とともに地盤系実験装置を動作させて確認し、実験に関する助言を行いました。

プロジェクトでは今後も実験指導、研究ゼミの定例化、共同研究などを通して教員の更なる研究能力向上を目指します。



EEHE Project Office: Yangon Technological University, Insein Township, Yangon, Myanmar
このPhotoletterで共有できるトピックや情報がありましたら、是非ご連絡ください。

